

事務事業名	地域振興事務事業 丸岡		事業コード	02010150101		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801		記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民、観光客を対象としています。					
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	有	地方自治法				
根拠例規	有	地域自治区の設置に関する協議書、坂井市寄付による市民参画条例				
関連計画・マニュアル	無					

【事業の概要】

地域自治区の区域に係ることや、丸岡支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とします。

●地域振興事務事業
地域自治区の区域内に係ること、丸岡支所が掌握する事務について協働のまちづくりを推進するため実施します。

事業の目的・事業の概要等

報償費	地域協議会視察謝礼	3千円
旅費	地域協議会委員費用弁償	120千円
	まつり延岡参加旅費	91千円
需用費	地域協議会事務費・会議経費	107千円
使用料及び賃借料	地域協議会バス借上料	180千円
負担金、補助及び交付金		
	山車振興事業補助金	600千円
	丸岡古城まつり事業補助金	6,000千円
	丸岡自治区スポーツレクリエーション祭補助金	1,200千円

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	66千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	8,152千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	8,218千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.17人	8,318千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	1.00人	2,000千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	2.17人	10,318千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		18,536千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		18,536千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		18,536千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	古城まつり参加および人数	目標値	1500	達成率 1000	達成率 1000	達成率 1000		
		実績値	1800	120	1700	170	1600	160
成果	地域協議会市長への提言書提出回数	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1		
		実績値	1	100	0	0	1	100
活動	古城まつり協賛金の全体事業費に対する割合	目標値	36	達成率 38	達成率 38	達成率 35		
		実績値	39	108.33	44	115.79	39	102.63
活動	地域協議会会議回数	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12		
		実績値	10	83.33	12	100	8	66.67
活動	丸岡自治区スポーツレクリエーションの参加人数	目標値	1000	達成率 1000	達成率 1000	達成率 1000		
		実績値	1051	105.1				
活動	丸岡自治区の活性化に寄与する経費	目標値		達成率 3200	達成率 3200	達成率 3200		
		実績値			2567	80.22		

すぐに行ける改善提案	古城まつりについては、行政が推進するのではなく、市民協働による実行委員会を立ち上げます。公民館のコミュニティ化にむけて、まちづくり協議会の存在を市民に周知し、活性化を図ります。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成25年度古城まつりに向けて、企画委員会を発足しました。また、まち協の現状を知ってもらうため、区長会長、地域協議会、まち協の合同会議を開き、活動状況や問題点について協議しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	古城まつりは、40数年の伝統があり、さらに末永く続く祭りとしていくため、まつり実行委員会を充実させ、伝統を創っていきます。また、25年度は「本多成重入城400年記念」のイベントに合わせ、丸岡城を広く全国に発信するため、観光ボランティアの育成、市民参画について啓発していきます。まちづくり協議会については、今後の方向性を検討し、若年層の後継者育成に努め、しっかりとした基盤づくりをします。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	坂井市のイベントで活用するため、のぼり旗、段ボール鎧兜を購入し、観光PRをします。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	丸岡自治区の活性化のため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	丸岡自治区の活性化のため、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	古城まつりの実行委員会を強化して、まつりを盛り上げていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	古城まつりのあり方を検証するとともに真の丸岡自治区の活性化に向けた検討が必要となります。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	古城まつり参加および人数	目標値	1500	達成率 1000	達成率 1000	達成率 1000		
		実績値	1800	120	1700	170	1600	160
成果	地域協議会市長への提言書提出回数	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1		
		実績値	1	100	0	0	1	100
活動	古城まつり協賛金の全体事業費に対する割合	目標値	36	達成率 38	達成率 38	達成率 35		
		実績値	39	108.33	44	115.79	39	102.63
活動	地域協議会会議回数	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12		
		実績値	10	83.33	12	100	8	66.67
活動	丸岡自治区スポーツレクリエーションの参加人数	目標値	1000	達成率 1000	達成率 1000	達成率 1000		
		実績値	1051	105.1				
活動	丸岡自治区の活性化に寄与する経費	目標値		達成率 3200	達成率 3200	達成率 3200		
		実績値			2567	80.22		

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金 丸岡			事業コード	06010305111
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（川上集落・新雨堂（八ヶ郷地区の一部）地区農業者）を対象としています。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	中山間地域等直接支払制度			
根拠例規	有	中山間地域等直接支払交付金実施要領、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

農業生産条件が不利地域である中山間地域等において、担い手の育成等による自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備及び耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能の確保を図ります。

「農業振興地域の整備に関する法律」で定める「農用地区域」にあり、1ha以上のまとまりがあり、急傾斜農用地（勾配 田1/20(5度)以上)の農用地が対象となります。集落協定又は個別協定を締結し、農業生産活動等を5年間以上継続して行う農業者等へ交付金を支出します。

- ・第3期対策(平成22年度～平成26年度)
- ・第2期対策(平成17年度～平成21年度)
- ・第2期対策(平成17年度～平成21年度)

【補助率等】 21,000円/10a（負担割合 国 1/3・県 1/3・市 1/3）
【期間】 平成22年度～平成26年度
【対象】 2地区（丸岡）
・川上地区 14,675㎡×21,000円/10a=308,175円
・新雨堂地区（八ヶ郷地区の一部）
19,852㎡×21,000円/10a=416,892円
計 34,527㎡ 725,067円

○負担金、補助金及び交付金（補助金） 725千円

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	725千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	725千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.09人	640千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.09人	640千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費			1,365千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	483千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	882千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		1,365千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
協定数		件	目標値	2	達成率	2	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	2	100	2	100	1	100	1	100
活動	対象面積	㎡	目標値	34527	達成率	46339	達成率	15088	達成率	15088	達成率
			実績値	34527	100	34527	74.51	14675	97.26	15088	100
活動	耕作放棄地面積	㎡	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値	0	0	---	0	---	0	---	0
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	山ぎわの傾斜のある小区画の農地は耕作放棄地となりやすく、農地を守り農業生産活動が継続的に行なわれるよう支援していきます。		
目標年度 平成26年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	生産条件が不利な地域に対する支援策であり、国・県の事業の推進と併せ、市も継続して補助事業を行っていきます。		
目標年度 平成26年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	耕作放棄地とならないよう継続的に支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	継続事業であるため平成26年度までは、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	継続事業であるため平成26年度までは、現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	継続事業であるため平成26年度までは、現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	国の制度見直しによる事業の推進を図る。			
目標年度 平成26年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	農業従事者の高齢化と農業離れが進む中、後継者育成が重要となっています。			
目標年度 平成26年度				

【事業の成果】

事務事業名	特産そば振興事業 丸岡			事業コード	06010345101		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（農業者、消費者）を対象としています。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	その他		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	地域特産物に位置付けされている「そば」の高品質化、高付加価値化の推進により、消費拡大、知名度の向上を図るとともに、イベント等を通じてそば産地としての競争力の強化を図ります。						
	坂井市丸岡町で獲れたそば粉を使用し、そば打ち体験やおろしそばを活用したイベントを通じて、県内外に広くアピールし消費拡大を図ります。						
事業の目的・事業の概要等	【事業実施団体】 丸岡そば振興協議会 （構成…そば愛好会、JA青壮年部、消費者代表、県、市、JAなど）						
	【主な事業】 ・「坂井市丸岡町素人そば打ち段位認定会」の開催 6月23日 ・「全日本素人そば打ち名人大会坂井市丸岡地区予選会」の開催 6月23日 ・「そばの里 丸岡 新そばまつり」の開催 11月17日 ・「ふくい新そばまつり」への出店 11月17日、18日 ・上記事業実施に伴う打ち合わせ会議の開催 5回						
○報償費		30千円					
○需用費		257千円					
○使用料及び賃借料		100千円					
○負担金、圃場金及び交付金		455千円					

すぐに行ける改善提案	そばに関係する団体や生産者の協力を得ながら、事業のPRに努め、事業の拡大を図っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡産そば粉を使ったそばを食するところが少ないため、利用者のニーズに応えられるよう、今後、そば振興協議会などと協議しながら丸岡産そばのPRに努めていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	259 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	585 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	844 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,688 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,688 千円		千円		千円		千円		
財源合計		3,688 千円		千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	そば産地PR及びそば消費拡大、農業振興に寄与していきます。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市・JA・民間団体が一体となり、そばの振興を図っていきます。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	厳しい予算ではあるが、継続していきます。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。				
すぐに行ける改善提案	関係団体や生産者の協力を得ながら、事業のPR及び拡大を図っていきます。				
目標年度 平成29 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡産そば粉の普及について、生産者や関係団体と協議していきます。				
目標年度 平成29 年度					

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	回	目標値	4	4	5	3		
		実績値	5	125	100	100		
活動	杯	目標値	1500	1500	1500	1500		
		実績値	887	59.13	960	64	1354	90
活動	杯	目標値	300	300	300	300		
		実績値	172	57.33	115	38.33	229	76
活動	人	目標値	20	20	13	14		
		実績値	18	90	17	100	13	100
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

事務事業名	林業事務事業 丸岡			事業コード	06020105101
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（林業従事者、林道利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	林道開設負担金
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市の林業振興を推進するための業務に必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業実施により、林業全般にわたって振興を図っています。				
	林業振興に伴う事務費、関係機関への負担金及び県営事業負担金等を支出します。				
事業の目的・事業の概要等	○需用費	104千円			
	・事務用消耗品、書籍購入用消耗品 ・燃料費				
○負担金、補助金及び交付金	・林業関係各種団体負担金	15,584千円			
	うち 劔ヶ岳線開設負担金	15,305千円			
・森林組合労務退職金共済事業費補助金	劔ヶ岳線開設負担金(繰越明許費)	10,800千円			
		4,400千円			
◆主たる負担金	県営林道開設事業森林基幹道劔ヶ岳線の概要	平成10年度～平成26年度(予定)			
	坂井市丸岡町山竹田地係からあわらし市牛ノ谷地係へ通じる基幹林道開設事業	【事業工期】 福井県			
【事業実施主体】	【延長計画】	全体L=23,130m 幅員W=5.0m (坂井市L=7,940m あわらし市L=15,190m)			
	【進捗】	全体L=17,013m (73.6%) 坂井市 L=6,581m (82.9%) あわらし市L=10,432m (68.7%)			
【負担割合】	事業費の1/10				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	各団体に対する負担もあるので、負担金の内容を精査し、見直していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	基幹林道開設事業の工期は、計画では26年度までとなっていますが、県などの財政事情により工期の延長が予想されるため、事業実施主体の県と協力しながら事業を推進していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業総務費				
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	107 千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	15,584 千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	15,691 千円	千円	千円	千円			
	人件費		正職員	0.56 人	3,981 千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.56 人	3,981 千円	人	千円	人	千円	
	総事業費		19,672 千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	15,200 千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源			4,472 千円	千円	千円	千円				
財源合計		19,672 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	林業振興を推進するために継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	基幹林道を開設中であるため現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	県が林道を開設し、経費の1/10を市が負担するため現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	負担金の内容を精査し、見直していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	基幹林道の工期が26年度となっているが、財政事情等により延長が見込まれるため、県と協力しながら事業を推進していきます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	伐採届出件数	目標値	40	達成率 24	達成率 40	達成率 42
		実績値	11	27.5	24	100
活動	伐採届出件数	目標値	40	達成率 24	達成率 40	達成率 42
		実績値	11	27.5	24	100
活動	森林整備事業計画数	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1
		実績値	1	100	1	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	林道維持管理事業 丸岡			事業コード	06020205101		
所管部署	地域振興課(丸岡支所)	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和		
事業対象	市民(林業従事者、森林所有者)が対象です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務(義務的なもの)		
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱 森林組合労働退職金共済事業補助金					
関連計画・マニュアル	無	坂井市森林整備計画					
事業の概要	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行います。						
	<p>県単林道事業(補助事業)に該当しない軽微な修繕や改良事業により、林道の適正な維持管理を行い、林業従事者などの利用者の交通の利便性の向上と安全対策を図っています。</p> <p>【林道数】 29路線 【総延長】 54.460m(平成24年度末現在) 【業務内容】 林道維持管理 ・ 随時、巡回の実施 ・ 特に大雨や台風、雪解け後の巡回による維持管理 ・ 林道路面の補修工事、落石防止のための法面工事など</p> <p>○委託料 53千円 ・ 工事積算システム保守点検委託料 ○使用料及び賃借料 107千円 ・ 電算システムリース料 ○工事請負費 1,779千円 ・ 土砂崩れ、路面洗掘、林道案内看板修繕 など</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	林道は、林道利用者にとって交通の手段として重要であり、日常的かつ継続的な維持管理が必要です。また林道の維持管理のため、風雨による荒廃箇所の早期復旧工事、定期的な林道巡回、落石除去など、継続的な管理を行っております。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	維持管理の継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	林道は、林道利用者にとって交通の手段として重要であり、日常的かつ継続的な維持管理が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	53 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,886 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,939 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	4,783 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		4,783 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	4,783 千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	森林機能の確保等のため、林道の維持管理についてこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	公共性の事業であるため、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道の維持管理のため現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行える改善提案	定期的に林道を巡回し、倒木・落石除去等を実施します。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林道の総延長が53 kmに及び、職員減員の中維持管理に支障を来しているため臨時的に作業員を確保する必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	林道維持補修費	千円	目標値	1500	達成率	1,500	達成率	2388	達成率
			実績値	1779	118.6	1,471	98.07	1002	100
活動	林道維持補修費	千円	目標値	1500	達成率	1,500	達成率	2388	達成率
			実績値	1779	118.6	1,471	98.07	1002	100
活動	林道草刈り延長 平成21年度~23年度	km	目標値	0	達成率	52	達成率	52	達成率
			実績値	0		52	100	52	100
活動	林道補修件数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	12	達成率
			実績値	7	70	7	70	12	100
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	県単林道事業 丸岡		事業コード	06020205106	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（林業従事者・林道利用者）を対象とします。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（林道事業補助金）				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行います。				
	◆林道河内～南谷線 6号橋補修工事 9,177千円 昭和48年に設置された6号橋は老朽化が著しく、調査の結果危険性が高いので補修工事を行いました。 【6号橋の概要】 所在 坂井市丸岡町山竹田地係 橋長 L=23.50m 幅 W=4.7m 有効幅員 W=4.0m				
	◆林道劔ヶ岳線復旧工事 2,107千円 平成24年4月に発生した土砂崩れによる復旧工事 所在 坂井市丸岡町長畝三ヶ田地係 施工延長 L=14.4m 法面保護工 A=350㎡				
	◆林道曾谷豊原曾復旧工事 2,893千円 平成24年4月に発生した土砂崩れによる復旧工事 所在 坂井市丸岡町上竹田地係 施工延長 L=17.8m 法面工 植生基材吹付工 364㎡ 種子散布工 69㎡				
	○工事請負費		14,177千円		

すぐにできる改善提案	県の1/2の補助事業を積極的に活用し、林道や林道に架かる橋梁の維持管理を実施し林業従事者の安全確保に努めます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	林道は、市道と同様に市に管理責任があります。限られた財源の中で補助事業を活用し、林業従事者や林道利用者の安全確保と利便性の向上を計画的に実施して行きます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】 効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【担当者評価】 有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費			
【事業のコスト】 コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	14,177 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	14,177 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	人件費	正職員	0.34 人	2,417 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.34 人	2,417 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	16,594 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	2,500 千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
その他	千円		千円	千円	千円	千円			
一般財源	14,094 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	16,594 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道利用者の安全確保のため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の管理のため現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県の補助を受けながら現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	昨今のゲリラ豪雨等による被害に対し、県の補助により早急に対応していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林道河内～南谷線の橋梁は老朽化が著しく、危険性が高いため順次補修が必要です。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】 成果	指標名		単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
	成果	林道改修件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	
				実績値	3	300	1	100	2
	活動	林道改修（曾谷～豊原線）	m	目標値	250	達成率	0	達成率	
				実績値	0	0	0	---	244
	活動	林道改修（河内～南谷線） コンクリート舗装	m	目標値	0	達成率	0	達成率	
				実績値	0	0	0	---	440
	活動	林道改修（河内～南谷線） 橋補修	橋	目標値	1	達成率	1	達成率	
				実績値	1	100	1	100	0
				目標値		達成率		達成率	
				実績値					
				目標値		達成率		達成率	
				実績値					

事務事業名	森林整備事業 丸岡			事業コード	06020205111		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（山林所有者）が対象者です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	林業の振興			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	森林法第10条の5					
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無	坂井市森林整備計画					
事業の概要	森林の持つ多様な機能を維持するために、森林の整備を行ないます。森林を良好な状態で維持することで、上流地域から下流地域の市民の居住環境の維持向上が図られています。						
	【森林整備の概要】 森林の機能を林班毎に区分し、区域に応じた森林整備を行います。 ① 伐採・造林・保育その他森林の整備に関する基本的な事項 ② 立木竹の伐採に関する事項 ③ 造林に関する事項 ④ 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐・保育の標準的な方法及び基準 ⑤ 要間伐森林の所在並びに実施すべき間伐及び時期に関する事項 ⑥ 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項						
	【事業実施主体】 坂井森林組合 【平成24年度事業実績】 ① 造林 0.10ha ② 雪起し 14.28ha ③ 下刈 19.31ha ④ 除伐 4.60ha ⑤ 枝打ち 2.55ha ⑥ ぬき伐 79.14ha ⑦ 作業路開設 10,772m						
	【補助補率】 ・市補助率は、事業費の3～6%以内 ・別途国30%、県20%が実施主体へ直接交付 ○補助金 5,054千円						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	5,054千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	5,054千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.13人	924千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.13人	924千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
成果 補助件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐに行ける改善提案	森林整備は、現在の地球温暖化への対応を図る上でも現状を維持し、業務を継続する必要があります。この事業は、坂井森林組合が所有者より依頼のあった森林を整備するもので、市町村森林整備計画に基づき総合的な事業の推進を行なっています。		
目標年度 平成29年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	森林整備は、現在の地球温暖化への対応を図る上でも現状を維持し、業務を継続する必要があります。国・県と一体となり、市町村森林整備計画に基づき総合的な事業の推進を継続的にを行い、森林の良好な維持に努めていく必要があります。		
目標年度 平成33年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	地球温暖化への対応のためこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の事業のため現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	地球温暖化を防ぐため事業を継続していきます。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市森林整備計画に基づき、森林の持つ多様な機能を維持するための整備を実施していきます。			
目標年度 平成29年度				

事務事業名	森林の特産品再興事業 丸岡			事業コード	06020205146
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（山菜生産組合員）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無	福井県地域を活かす特産品振興事業実施要領、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域の資源である特産品を伝統技術の伝承などにより再興し、地域の活性化を図ることを目的とする。				
	【対象】	みどりぜんまい(坂井市)			
事業の目的・事業の概要等	【事業内容】	ソフト事業 ビジョン作成、各種調査、商品開発等に関する経費 ハード事業 基盤整備(歩道整備)、施設整備に要する経費			
	【事業主体】	竹田山菜生産組合			
	【実施期間】	平成24年度から平成26年度(3年間)			
	【補助率】	補助対象事業費の県1/2、市1/10 事業費の上限 3,000千円(事業期間3ヵ年以内)			
	○補助金	636千円			

すぐにできる改善提案	特用林産物であるみどりぜんまいの生産では、後継者の育成や生産技術の伝承、生産基盤の整備など大きな課題を抱えており、経済的事情や自主的な活動に不安を持っている生産組合に対し、県と連携し地域の活性化を図ります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	平成24年度より、活動支援や財政的援助(補助事業)に取り組んでいます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	高齢化が進んでいる生産組合は、後継者の育成や生産技術の伝承が大きな課題です。また、作業効率のよい生産基盤の整備が必要である。市では、生産組合に対し、県と連携し計画的に地域の活性化を図っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	平成24年度より、活動支援や財政的援助(補助事業)に取り組んでいます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	636 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	636 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,987 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	530 千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		1,457 千円	千円	千円	千円					
財源合計		1,987 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	竹田地区の活性化のため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	竹田地区の活性化のため、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	県と連携し竹田地区の活性化を図るため支援していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	組合員の高齢化が進み、後継者育成が最大の課題となっています。			
目標年度 平成26 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	ぜんまい生産量			目標値	1,800	達成率		達成率		達成率	
				実績値	1,920	106.67					
活動	ぜんまい生産量	kg		目標値	1,800	達成率		達成率		達成率	
				実績値	1,920	106.67					
活動	歩道整備延長	m		目標値	400	達成率		達成率		達成率	
				実績値	440	110					
活動	イベント・学習会等開催	回		目標値	2	達成率		達成率		達成率	
				実績値	2	100					
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							

事務事業名	まちかど公園管理運営事業 丸岡			事業コード	07010510141
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（観光客、施設利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	有料駐車場及び付属設備の維持管理
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場は、丸岡町内の商店街や日本最古の丸岡城に近い位置に設置されているため、商店街を利用する市民や観光客が快適で安全に利用できるよう駐車場の適正な管理運営を行います。				
	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場の両駐車場は、パーキングメーターによる有料駐車場で、機器の保守管理と付帯施設の維持管理業務を指定管理により委託しています。				
事業の目的・事業の概要等	【指定管理先】 財団法人 坂井市公共施設等管理公社				
	【指定期間】 平成20年4月1日～平成25年3月31日 5年間				
	【施設概要】 ①丸岡まちかど公園駐車場 所在地 坂井市丸岡町富田町1丁目1 766.18㎡ 駐車台数 12台 付属施設 公衆トイレ ②お天守前駐車場 所在地 坂井市丸岡町霞町1丁目31 497.36㎡ 駐車台数 12台 付属施設 お天守前公園				
	○役務費 5千円 ・まちかど公園公衆トイレ火災保険料 ○委託料 1,100千円 ・指定管理委託料				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	5千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	1,105千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.08人	569千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.08人	569千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,674千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		1,674千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		1,674千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	駐車場利用台数	目標値	4,500	達成率 3,800	達成率 3,800	達成率 3,800		
		実績値		---	4,757	125.18	3,794	99.84
活動	駐車場利用台数	目標値	4,500	達成率 3,800	達成率 3,800	達成率 3,800		
		実績値		---	4,757	125.18	3,794	99.84
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

すぐに行ける改善提案	利用者の便を図るべく保守点検を行ないながら維持管理を行っております。しかし、施設の老朽化に伴い、施設設備の更新または施設のあり方を検討する必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	施設整備後10年以上が経過し、老朽化が進んでいます。施設の保守点検を随時実施しながら、維持管理を行なっています。
中長期的に取り組むべき改善提案	施設整備後10年以上が経過し老朽化が進んでいるため、更新の検討をする必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	城周辺にある施設ということで、総合的に計画をする必要があり、検討中であります。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	丸岡城及び町内散策のための駐車場としてこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理制度により現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	利用者の妨げにならないよう保守点検を実施し、維持管理に努めていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の経年劣化による不具合が生じているので、更新を検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				